

2023 年6月 30 日

## 「中小企業向けSDGsガイドライン」の提供開始 ～SDGs取組みを通じて地域・社会の持続性確保に貢献～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:隅野 俊亮、以下「当社」)は、慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ(代表:蟹江憲史)との共同研究により中小企業向け SDGs ガイドライン(以下「ガイドライン」)を作成し、2023 年7月3日より中小企業向けに提供を開始します。

ガイドラインはこちら [https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/pdf/sdgs\\_guideline\\_001.pdf](https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/pdf/sdgs_guideline_001.pdf)



### 1. ガイドライン提供の背景・目的

当社が 2021 年6月に実施した SDGs 取組みの実態調査を目的としたアンケート調査※によると社会貢献活動に取り組むべきと考える企業は 67%に上る一方で、実際に SDGs に取り組んでいる企業は 25%とギャップが生じている実態、SDGs 取組みへ望まれる支援として、「助成金制度」(37%)や「税制優遇制度」(29%)など制度的な支援のほか、「何に取り組むべきか教えてほしい」(17%)といったコンサルティング支援の割合が高い傾向を鑑み、出来るだけわかりやすく、効果的な SDGs の取組みは何かという観点からガイドラインを作成しま

した。

当社は、「安心の先にある幸せへ。」をビジョンとして掲げ、これまで提供してきた生命保険による「保障」の枠を超えて、一人ひとり違う幸せの実現のお手伝いをしています。その幸せは、持続的社會(サステナビリティ)があってこそ実現することから、ガイドラインの提供を通じ、中小企業の皆さまの更なる取組みの一助となることで、従来以上に地域・社會の持続性確保に貢献していきます。

※中小企業を中心に約3万社に「SDGsに関するアンケート調査」を実施 [https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2021\\_052.pdf](https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2021_052.pdf)

## 2. ガイドラインの概要

### (1)構成

以下3つのステップをふむことで、SDGsの取組みに活かすことができます。

- Step1「まなぶ」 SDGsとは何か、企業が取り組む理由や具体的なイメージがわかる
  - Step2「しらべる」 自社のSDGsの取組み状況を把握するためのチェックシートを掲載
  - Step3「おこなう」 実際に取り組むにあたっての目標や具体策・支援策(助成金・事例など)を紹介
- 【取組みステップ】 【チェックシート】



### (2)特長

#### ①SDGs アンケート結果の掲載

2022年12月1日～2023年3月31日に中小企業に対し、SDGsの項目毎の具体的な取組状況などに関するアンケートを行い、17,667社より回答いただきました。その結果をふまえ、具体的な取組みの参考となるよう経営者が選んだSDGsの取組みの上位項目をランキング形式で掲載。

#### 【アンケート結果のランキング】



## ②省庁情報の紹介

各省庁が提供している SDGs に関する助成金・事例・マニュアルなどのアクセスコードをガイドラインに掲載し、企業の皆さまが効率的に活用出来ます。

### 【各省庁情報へのアクセス】



### 【慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ】

## 慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボとは

慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボでは、社会諸問題を解決するためにSDGsという切り口から、企業との共同研究や産官学連携により個別課題を掘り下げ、アカデミアの枠を超えたソリューション指向の研究を実施し、SDGsのベストプラクティスを創出・集積します。



慶應義塾大学 SFC 研究所  
X.SDG Lab.



<https://xsdg.jp/#about>



ラボ代表 慶應義塾大学大学院  
蟹江憲史教授

専門は国際関係論、サステナビリティ学、地球システム・ガバナンス。国連におけるSDGs策定に、構想段階から参画。SDGs研究の第一人者であり、研究と実践の両立を図っている。博士(政策・メディア)